

# シニアのゲンキで マチが輝く!! 😊

＜＜少子高齢社会のなか、豊富な経験や技術をもつシニアの方々が、生涯を通じて仕事や地域活動、生涯学習・スポーツなど、さまざまな分野でイキイキと活躍できる社会（生涯現役社会）づくりが望まれ、今日特に「団塊世代」にスポットが当たっています。お元気なシニア・団塊世代がたくさんいらっしゃる事が、活気にあふれる地域社会となっていきます。そこで、お元気なシニア世代の方々に、シリーズでご登場いただきます。

## ■「音訳」活動の中へ

私が、音訳ボランティアに関わるようになってから、26～7年が経ちます。きっかけは、子どもたちが学校へ行き始め、私も何か社会参加したいと思ったからです。

最初は「勝間杉の子会」の名称で、点訳が主な活動でした。その後、音訳も必要になり、点訳、音訳それぞれに独立し、名称も「点訳杉の子会」・「音訳杉の子会」と変わり、現在に至っています。

さて、みなさん「音訳って何？」って思われる方もおられると思います。正しくは「音声訳」と言います。視力障害者の方に、本や市広報、雑誌、その他の情報などをテープに録音して「声」にして届けさせていただく活動です。名優さんたちが、感情を込めて読むのとは違い、むしろ自分の感情や主観が入らないように淡々と読むことが基本です。聞いてくだ



## 心の中に形の無い宝物

音訳杉の子会 **松本 ひろみさん (60)**  
*Hiromi Matsumoto*

さる方のイメージや想像をお邪魔しないように心掛けていますが、実際はどうでしょう？ 今もって、満足のいくテープに仕上がらず、聞いてくださる方に申し訳ない限りです。

### ■多くの仲間を支えられて

音訳は地味な作業で、何か形になって残っていくものではありません。知らない漢字も出てきます。辞書を引くと、初めてお目にかかるような漢字がたくさんあります。言葉の意味、地名、人名など、知らないことだらけです。自分の無教養に恥をかくことも度々。それなのになんでこんなに続いたのかなと、自分でも不思議です。

今考えると、知らないことがいっぱいあったからこそ、調べるおもしろさ、知る喜びを味わうことができたのだらうと思います。今度こそ良いテープに仕上げたいと思いつつ、気がついたら20数年経っていたというわけです。

そして、振り返ってみると、形の

無い宝物が、心の中にたくさん積み重ねられてありました。まず、多くの人と出会えたことです。たがいに励まし合い、支え合い、協力しながら同じ目標を共有し社会に関われることは、楽しいと言うより充足感があります。

それから、福祉について関心も持てたことです。音訳活動を通して、福祉に関する講演会や下関の盲学校に行かせていただき、障害をおもちの方の生活や現状を聞いたり、見せていただいたりすることで、私自身の福祉に対する考え方や視点が変わったと思います。また、その生活や前向きな姿勢にととても感動し、元氣や勇気を貰います。私は、まず、「知ること、理解すること」——、この小さな一歩から始めようと思います。

最後に、音訳もデジタル化の波が押し寄せてきました。これからパソコンによるCD録音へと移行していきます。錆びかけた頭に油をさして挑戦しようと思います。